



脳深部刺激療法セミナー

順天堂大学医学部附属順天堂医院 運動障害疾患病態研究・治療講座

対象 主に神経内科医師, 脳神経外科医師
参加費 無料
人数 23日(木) 10名 24日(金) 5名(先着順)

順天堂大学医学部附属順天堂医院「運動障害疾患病態研究・治療講座」は、パーキンソン病等に対する治療普及および脳深部刺激療法に対する知識向上を目的に「脳深部刺激療法セミナー」を開設いたします。

当院は脳深部刺激療法の定期的な実施を含め、国内最多のパーキンソン病患者様の治療を行っている運動障害疾患治療の中心的臨床施設です。

パーキンソン病の治療には、薬物治療はもちろん、脳深部刺激療法に代表される手術治療やリハビリテーション等、診療科を超えた集学的なアプローチが必要です。

「脳深部刺激療法セミナー」では、神経内科及び脳神経外科の両方の観点からパーキンソン病にアプローチし、神経内科医がどのように脳深部刺激療法に関わり、患者様のQOLを向上させるかなどのノウハウを短期間で学ぶことができます。

当セミナーは当院・脳神経内科教授である服部信孝が中心となり、下泰司准教授及び梅村淳准教授が講師をつとめます。

お申し込み

Email: yshimo@juntendo.ac.jp

Tel: 03-3813-3111

(担当医師:下 泰司)

トレーニングコース概要

場所: 順天堂大学学内

2015年4月23日(木曜日) 18:00~20:00

- PDに対する(最適な)薬物療法/術前の患者教育
- DBSの適応と効果/手術手技説明, Target選定方法

講師 順天堂大学医学部 脳神経内科/脳神経外科
運動障害疾患病態研究・治療講座 准教授 下泰司
運動障害疾患病態研究・治療講座 前任准教授 梅村淳

2015年4月24日(金曜日) 9:00~14:00

- 手術見学: 手術手技/targeting方法/micro recording
- 神経内科の役割(術中): target選定/術中評価

講師 順天堂大学医学部 脳神経外科/脳神経内科
運動障害疾患病態研究・治療講座 前任准教授 梅村淳
運動障害疾患病態研究・治療講座 准教授 下泰司